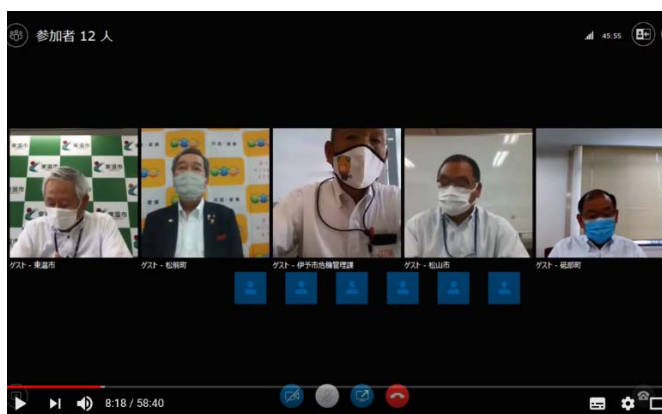


(第6回)重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会

●第6回重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- ・実施日：令和2年6月5日(金) 14:00～15:00
- ・場所：WEB会議
- ・出席者：松山市危機管理担当部長、伊予市長、東温市長、松前町長、砥部町長、中予地方局総務企画部長、中予地方局建設部長、愛媛県河川課長、松山地方気象台長、国土地理院四国地方測量部長、松山河川国道事務所長、(愛媛県警察本部警備部長、松山東警察署長、松山西警察署長、松山南警察署長、伊予警察署長については書面对応)
- ・事務局：松山河川国道事務所、中予地方局

●開催状況



●決定事項

- ・同時多発的な洪水が発生した場合などを想定し、ホットラインの複数化を確認した。
- ・緊急速報メールによる洪水情報の提供、大雨特別警報の警報への切り替え時の洪水予報の発表、避難の考え方について共有した。
- ・本協議会における取組は継続して推進し、順次実施する。また、本年度中に取組方針の見直しを行う。

●構成員発言要旨

- ハザードマップを令和3年度完成に向けて作成中。今後もSNS等を通じて、国交省や気象台からの様々な情報頂いて課題に対応していきたい。(伊予市長)
- 避難所の新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成し、開設・運営することとしている。正しく恐れて日頃から備えを十分にしておくことが必要不可欠である。(東温市長)
- 重信川が氾濫した場合、町域のほとんどが水没する想定となっており、これまでの避難の考え方を改めなければならないうえ、広域避難も必要となる。現在のタイムラインも見直しが必要と考えている。(松前町長)
- 重信川の河床掘削により内水排除路の閉鎖も解消された。また、砥部町でも排水ポンプ車を整備したことにより、さらに内水排除が出来ると期待している。(砥部町長)
- 小野川の浸水想定区域図が公表されたのでハザードマップを速やかに作成したい。また、タイムラインの精度向上や関係機関との連携を目的として図上訓練にも取り組む。(松山市)
- 去年の台風のように事前に危ない状況がわかっている場合は、警戒レベルの状況によらず事前に情報発信するよう対応する。(松山地方気象台)

●テレビ・新聞等の取材状況

- ・新聞：1社(愛媛新聞)